

警察署協議会議事録

協議会名	令和7年第2回宮城県亙理警察署協議会
開催日時	令和7年6月25日（水）午後3時30分から午後4時45分まで
開催場所	宮城県亙理警察署 会議室
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～渡邊隆弘会長、岩佐勝副会長、佐藤徳美委員 三戸部貞雄委員、大友秀孝委員 ・ 欠席委員～なし <p>2 警察署員</p> <p>署長、次長兼警備課長、警務会計課長、地域課長兼生活安全課長、刑事課長、交通課長、警務会計課課長代理、生活安全課課長代理、警備課課長代理</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

1 報告事項等

(1) 管内の治安情勢等について（署長）

署長から、令和7年5月末現在における刑法犯認知件数、特殊詐欺被害及び交通事故発生状況等の管内の治安情勢について説明がなされた。

委員： 特殊詐欺では、海外のアジトが次々摘発されていると報道されているが、被害件数は減っているのか。

署長： 海外アジトの摘発等との因果関係は不明であるが、海外からの特殊詐欺被害対策として、犯人と話さない、犯人から電話がかかってこない環境をつくるのが大切なので、防犯機能付き電話の導入や海外からの電話をつながらなくするなどの対策等を検討していただきたい。

(2) 亘理警察署速度取締り指針について（交通課長）

交通課長から、令和7年度下半期における亘理警察署速度取締り指針（案）について説明がなされた。

2 協議事項（提言・意見・要望等）

各委員から、次の提言等がなされた。

(1) 防犯・防災意識向上のための施策について

委員： 事件事故の情報源として、駐在所発行の広報紙があるが、広報紙は、回覧版により回るため、家族全員が見ることができないので、何か良い方法はないか。

地域課長： 広報紙は、住民の方々に犯罪や交通事故の発生状況を掲載しており、町内会の協力を得て、回覧版により情報を伝達している。

また、自治体が発行している広報紙、防災アプリや公式SNSを介して情報の掲載を依頼している。

今後も様々な広報媒体を活用しながら情報を発信してまいりたい。

委員： 広報紙は、交番や駐在所毎の発行は負担だと思うので、亘理町、山元町それぞれ一種類で良いと思う。

委員： 折角作っているのに、パッとみて分かる内容にしていただきたい。

地域課長： 意見を参考に、レイアウトを工夫して発行してまいりたい。

(2) 事故防止に向けた交差点の規制等について

委員： 山元町坂元字町にある十字路交差点が交通事故多発地点になっている。

原因は、標識が高い位置にあって見にくいなど要因がある

議事概要	<p>ので、交差点4か所に「最徐行」の標識等を設置してはいか がが。</p> <p>交通課長： 過去5年間における同交差点の交通事故は、他と比べ多い 状況ではない。</p> <p>また、標識は、全国統一の基準である交通規制基準により 地上から標識下端部まで2.5メートルと定められており、交 差点の標識も、同基準に基づき設置されている。</p> <p>しかしながら、交通事故の危険性についても理解できるた め、道路管理者と協議し、適切な安全対策を進めてまいりた い。</p> <p>委 員： 道路を凹凸にするなど物理的デバイスを設置できないか。</p> <p>交通課長： ハンプなどの物理的デバイスを設置すると、交通事故の抑 制につながる一方、騒音問題を生じることがある。</p> <p>特に、住宅街に設置した場合、過去に騒音問題に発展した ケースもあるので、その点を考慮しながら、道路管理者と対 策を進めてまいりたい。</p> <p>(3) 地域の安全確保に向けたパトロールの強化について</p> <p>委 員： 特殊詐欺、悪質な犯罪や小学生を巻き込んだ交通事故等が 毎日報道されている。</p> <p>対策として、見せる・知らせるパトロールが有効であり、 地域の安全・安心を確保するためにパトカーによる警戒パト ロール、拡声器を活用した広報啓発活動等を強化していただ きたい。</p> <p>地域課長： パトカーによる常時赤色灯点灯による街頭活動は、県民に 安心感を与えるとともに、車両の運転者や歩行者に対する注 意喚起につながると認識している。</p> <p>今後も、パトカーによるいわゆる見せる警戒を行った上で 不審者に対する職務質問、交通指導取締り、防犯指導等の活 動を推進するとともに、車載マイクを活用した広報啓発活動 を強化し、安全・安心な地域社会の実現を図ってまいりたい。</p>
------	--